

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
海外デザイン研修 3											
対象	3 年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山田 盛久 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学院の意匠・歴史研究室にて西洋建築史研究と横浜・鎌倉の歴史的建造物の実測調査・保存活動に携わる。その後、一級建築士事務所を設立し住宅設計・監理を経験。本校の非常勤講師を経て常勤教員として設計教育に従事。											
授業概要											
この授業では、海外研修で訪問する海外の建築物、大学・専門学校の建築教育機関を設定し、事前に、それらについてリサーチをする。そのために事前の勉強会を実施し、訪問先となる国の歴史、風土、業界の状況を学習し、現地で使用される言葉の語学を勉強する。その上で、実際に現地の建築物や建築教育機関を訪問することにより、より広い視野で今後の建築制作活動に向かえ、また進路選択の判断材料として活かす。また最後には「海外研修ハンドブック」を制作し、海外研修の具体的成果としてまとめることを目指す。											
到達目標											
この授業では、海外研修で訪問する海外の建築物、大学・専門学校の建築教育機関を設定し、事前に、それらについてリサーチをする。そのために事前の勉強会を実施し、訪問先となる国の歴史、風土、業界の状況を学習し、現地で使用される言葉の語学を勉強する。その上で、実際に現地の建築物や建築教育機関を訪問することにより、より広い視野で今後の建築制作活動に向かえ、また進路選択の判断材料として活かす。また最後には「海外研修ハンドブック」を制作し、海外研修の具体的成果としてまとめることを目指す。											
授業方法											
・基本操作を学ぶ回では、教員が解説を行い、学生は解説と同じように作業を行う ・解説と作業を繰り返し行い、スキルを身に着ける ・応用回では、今まで身に着けたスキルを用いて、各自モデリングを行う ・動画等を用いて、最新技術の紹介を行う											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業で使用するデータは各自USBメモリやクラウドなどによって適切に管理すること。説明中や授業と関係のない私語、受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。課題提出はデータにより行い、コピーなどによる不正な提出データはカンニング扱いとし採点されない。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位取得することができない。											
教科書教材											
課題資料、参考資料を配布し、参考書等は授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	事前勉強会（1）	海外研修の主旨と行程を理解する／海外研修ハンドブック／訪問先の国・都市の概要調査課題									
第2回	事前勉強会（2）	国・都市の概要解説／建築物の調査課題（1）／提出：海外研修ハンドブックのページチェック									
第3回	事前勉強会（3）	建築物の解説（1）／建築物の調査課題（2）／提出：海外研修ハンドブックのページチェック									
第4回	事前勉強会（4）	建築物の解説（2）／語学／学校交流のリハ／提出：海外研修ハンドブックのページチェック									
第5回	海外研修（1）	日本出国／現地入国／ホテルチェックイン／建築見学／ウェルカムパーティ									

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
海外デザイン研修 3	
第6回	海外研修（2） 建築見学／学校交流・現地学生との交流
第7回	海外研修（3） グループ別行動の街歩きと建築見学
第8回	海外研修（4） 建築見学／ホテルチェックアウト／さよならパーティ／現地出国／日本帰国
第9回	解団式 海外研修振り返り／アンケート／提出：海外研修ハンドブックの完成品